

栗田敬子カルテット

栗田敬子 (P) 愛媛県松山市生まれ。愛媛大学教育学部特音卒業。在学中にジャズピアノに興味を持ち、卒業後、松山市内の「LOFT CLUB」にレギュラー出演。ここを訪れた多くの国内外のミュージシャンとセッションの経験を持つ。

松山を拠点にライブ活動を始め、83年故西村昭夫(Ts)カルテットに参加。LP「MY SONG」を制作。89年には、バークリー音楽大学夏季講習(浜松市)に参加。ゲーリーパートン、小曽根真らの指導を受けた。94年11月藤家虹二(CI)クインテットのメンバーとして「スイート・クリスマス・フォー・ラバース」のレコーディングに参加。BMGピクチャーより発売中。95年10月ハイネケン・ジャズ・コンペティションに応募。上位9名での最終審査を受けた。入賞はできなかったが、それがきっかけとなり東京でライブ活動を始める。また、弘法大師空海の一生涯を音楽と声明で表現したコンサート“空と海”(96年)や香川芸術フェスティバルオープニング公演(96年)の作曲編曲を手がけた。現在、松山市内の「キーストーン・バー」に毎月曜日出演の他、四国、九州、東京都内のライブハウス等でライブ活動中。演奏活動の傍ら、音楽講師として後進の指導も努めている。弾き語りも好評である。2000年5月愛媛県文化協会奨励賞受賞。

渡辺綱幸 (B) 昭和26年6月12日生まれ。松山市出身。松山商科大学(現松山大学)在学中にジャズ研究会でベースを始める。その後、プロとして松山、高松、岡山で演奏活動。現在、NHK放送管弦楽団所属。また高松、徳島ジャズストリート、新居浜ジャズビレッジへの参加他、ライブ活動もアクティブに行っている。

桜井康雄 (Dr) 神奈川県鎌倉市出身。昭和14年1月13日生まれ。渡辺辰郎、佐久間敏雄、杉原亨、横内章次バンド等を経て、昭和47年に松山に移り、現在に至る。松山を中心に演奏活動を行っている。また、松山市内に「キーストーン・バー」を経営。松山のジャズの拠点となっている。

松本崇史 (As) 高校時代にアルトサックスを始め、洗足学園大学に進学。中村誠一氏に師事する。その後、東京都内でセッションを重ね、現在、アメリカ行きを控え地元四国にて活動中。

